

AI搭載検査装置

製品検査にこのようなお悩みを抱えていませんか？

- ✓ 検査担当者の個人差によって検査結果にバラつきが生じてしまう
- ✓ 採用・育成の期間増や人件費の負担増
- ✓ 検査工程の追加や数値化要望など、検査基準が厳しくなる傾向にある
- ✓ 検査環境や条件によっては担当者に肉体的・精神的負担が避けられない
- ✓ 感染症など衛生面対策の強化

人に起因する製品検査のお悩みをAIで解決します

AIを活用した検査装置のメリット

1. ムラがない

感情や体調の良し悪しがなく、個人ごとに結果が異なるといったバラつきが起こりません

2. 制約がない

仕事に対するモチベーション変化がなく、連続稼働時間の制限や、疲労などはありません

3. 育ったAIを複製可能

増員、育成の手間や時間といったリソースの削減が可能です

4. 人では対応できない高速化が可能

ハードウェアの性能向上に比例して検査速度も向上。生産増につながります

5. コストダウン

ランニングコストはスタッフ一人当たりの人件費よりも低くなる傾向にあります
※サブスクリプション(価格表参照)ではスタッフ一人当たりの人件費に換算すると時給625円に相当

6. 人手を介さず衛生的

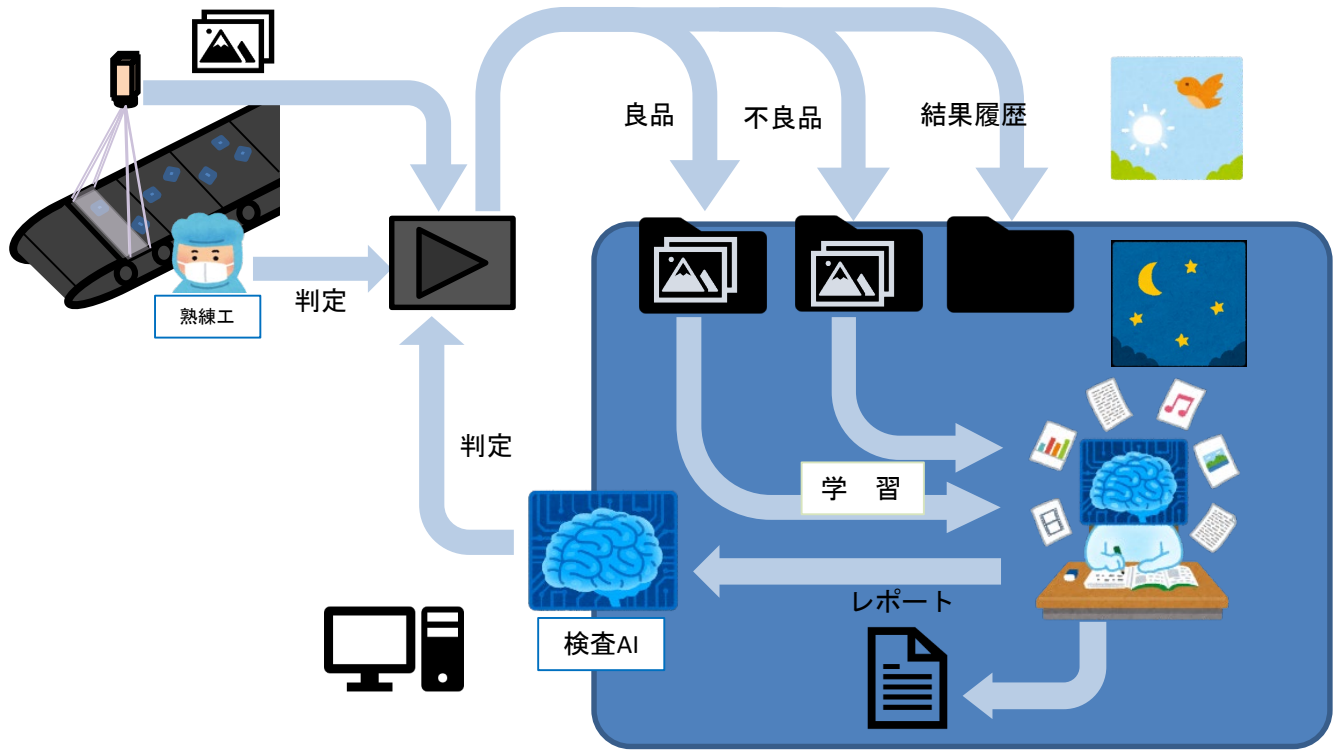
最終的に検査装置のみでの検査も可能なため、感染症などのリスク軽減につながります

対応製品の例

傷(線キズ、ヒビ、打痕、欠け、研磨痕など)、汚れ、異物混入、柄違い、塗布ムラなど、様々な製品の欠陥に対応可能です。

- ・ 金属製品(バネやシャフトなどの自動車や鉄道などの輸送機器部品、建材、各種製造機器など)
- ・ 化学製品(樹脂製品、ゴム製品、素材など)
- ・ ガラス製品
- ・ 印刷物(紙、フィルム、シリコンなど)
- ・ 食品
- ・ コンクリート
- など

AIにより成長する検査装置



日々の検査結果をもとに**AIが自己学習をして判定の精度が向上**していきます。そのため、熟練作業者の負担を増やさずに育成可能です。人による検査も併用する場合は完成した**AI検査装置を新人作業者の育成**(成長したAI検査装置の検査結果と新人の検査結果の答え合わせなど)に活用できます。また、画像処理により分類が難しい瑕疵であっても、人が目視で分類できるものであれば、ディープラーニングによって分類も可能です。

★詳細はお問合せください